

# 地域と時を紡ぐ人々

連綿と受け継がれる地域の伝統や芸能、自然などを次代に継承する方々を、広報たかやまではシリーズで紹介いたします。

## 第十四章

### 臥龍桜から

### 元気をもらおう画家

— 幹がいい。もちろん冬も春も —

臥龍桜の魅力を語る山腰さん。展示中(※)の作品はたくましい幹や桜花を身にまとう姿が画面いっぱい描かれています。

同町のまちづくり協議

— 枯死寸前だったときも、台風で枝が折れたときも、とても厳しい冬だったときも、春になれば臥龍桜は必ず咲く —  
雅号「左山人」は力強く語り出しました。

一之宮町の山腰曠さん(89)。昭和55年に右腕を事故で失い、入院中に偶然目にした水墨画教室の募集紙面。翌年から教室に通い水墨画を学び始め、平成2年から地元で始まった臥龍桜日本画大賞展に触発され、翌年から日本画の門も叩きました。

「幼いころから臥龍桜は遊び場だった。思い入れはひとしお」と、水墨画や日本画で描く多くは臥龍桜です。

— 幾多の危機に直面しても花を咲かせる臥龍桜の生命力。私も元気をもらっている —

左山人は臥龍桜を描き続けます。もちろん今年も。



山腰曠さん  
(飛騨位山文化交流館にて)

(※)山腰さんの作品をはじめ、臥龍桜日本画大賞展の入賞作品などを展示する特別展は5月6日(水)まで飛騨位山文化交流館(一之宮支所隣)で開催中です。

午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで) 入場無料

### 広報 市長だより

40

### 絆を大切にしながら 高山市長 國島芳明

— 絆を大切にしながら、県内の連携にとどまらず、桜の魅力を全国に向けて発信することをここに誓います —

2年前の4月30日、莊川町で開催した「ぎふ・さくらサミットin高山」で私は宣言しました。

上述の臥龍桜と同様、莊川桜も復興を願う2世が東北に植えられているほか、臥龍桜はバチカン市国などに、莊川桜にいたっては国内外に4千本を超える苗木などが贈られています。また、森づくりをきっかけにして文化や観光などの幅広い交流を深め合う東京都千代田区にも両桜の2世が植えられており、今春、植樹後初めて花を咲かせました。

今年の3月に山腰さんの絵を贈られた女川中学校の生徒は「臥龍桜の絵に女川の復興を見守ってほしい」と話し、宮中学校の生徒は「手紙などで交流を続けたい」と話しました。両地域の五百年、千年先の未来は想像に難くありません。絆を大切にしながら、臥龍桜や莊川桜のみならず、私も桜の魅力を発信していきます。

咲き誇れ高山の桜よ。見る者の心にも花を咲かせて。

ケーブルテレビの番組「ハイ、市長です」はインターネットでもご覧いただけます。  
市ホームページ「行政情報」の動画コーナー [高山市公式YouTubeチャンネル](#)

### 市長室へようこそ

●市民と市長の面談日

**5月14日(木)**  
午前9時～11時45分  
※事前にご予約ください



また、始業前の時間も市役所の市長室を「市民と市長の対話の場」として開放しています。お気軽にお越しください。

●開放時間  
午前7時～8時30分まで  
※出張や特別な行事がある場合は除きます。  
※市ホームページで市長の週間スケジュールを公開しています。

市長室直通FAXもご利用ください  
FAX●32-7000

問合せ先 秘書課 ☎35-3130